

2020年6月30日

各位

**くすりの町の落語会「道修町たなみん寄席」をオンデマンド配信
—「天神祭の落語で疫病退散祈願！」上方文化を全国にお届けします—**

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：上野 裕明）は、メセナ活動の一環として、大阪の歴史と文化にふれる落語会「道修町たなみん寄席」を、2017年から年2回、くすりの町・道修町（どしょうまち）にある本社ビルで開催しています。第7回となる今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と、日本全国の方に上方落語と大阪の文化をお届けしたいという観点から、新しい試みとして、インターネットを通じ、落語と歴史講演をオンデマンド配信します。

第7回「道修町たなみん寄席」は、「天神祭の落語で疫病退散祈願！」がタイトルです。日本三大祭りの一つである大阪の天神祭は、毎年7月24日・25日に開催されていますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、神事以外の諸行事の中止が発表されています。夏祭りは元来、疫病退散を祈願するための祭礼です。世界が未曾有の感染症とたたかうなかで、皆さんの健康と疫病退散への願いを込めて、天神祭にちなんだ新作落語2席と歴史講演をお届けします。皆さんふるってご視聴のうえ、大阪の伝統芸能と天神祭の雰囲気をお楽しみください。

記

第7回「道修町たなみん寄席」オンデマンド配信概要

- 日時：2020年7月15日（水） 10:00から動画配信（期間限定）
- タイトル：「天神祭の落語で疫病退散祈願！」
- 配信サイト：道修町たなみん寄席ホームページ（<https://www.tanamini-yose.net>）
- 視聴料：無料
- 演目：
 1. 講演 高島幸次（大阪大学招聘教授）「天神祭と疫病退散」
 2. 落語 笑福亭生寿「仮名手本天神祭」（江戸時代の天神祭を舞台とした新作落語）
 3. 落語 笑福亭たま「菅原君の祟り」（現代の天神祭を舞台とした新作落語）
 4. こぼれ話 高島幸次「本日の落語のこぼれ話」

以上

田辺三菱製薬株式会社 広報部

（お問合せ先） 報道関係者の皆様 TEL：06-6205-5119

道修町たなみん寄席について

「くすりの町」として知られる大阪・道修町に本社をおく田辺三菱製薬が、メセナ活動の一環として、2017年から年2回開催している落語会。大阪で人気の高い伝統芸能である落語の上演とともに、その背景となった大阪の歴史についての講演を行うことで、大阪の歴史や伝統文化に気軽に親しんでいただけます。これまで、「水の都、大阪の夏」、「大阪人につける薬」、「落語は学んだもん勝ち」、「噺のプロフィール」、「落語は教科書より真なり」、「お説教から落語へ」のタイトルで、計6回開催。のべ1400名を超える方が来場され、ご好評いただいています。

道修町たなみん寄席ウェブサイト：<https://www.tanamin-yose.net>



<第7回「道修町たなみん寄席」の様子。上段左から、笑福亭たまさん、笑福亭生寿さん。
下段、高島幸次先生>